

お客さまを招くための、市民みんなの気持ち

迎える心を一つに合わせて

訪れるお客さまが満足する街とは、そこに住む市民が胸を張って誇れる街ではないでしょうか。住んでいるからこそ知っている札幌の素晴らしさを外に向かって発信できれば、何よりの札幌PRになるはず。15年度に実施した「さっぽろ絵手紙コンテスト」と「さっぽろ観光 おすすめコースと写真コンテスト」には、札幌の魅力を伝えようという、市民の思いが詰まった応募が数多く寄せられました。

絵手紙に「おもてなし」の言葉を添えて

「来客二千万人」を実現するためには、街全体でお客さまを温かく迎えることが必要です。そこで集客交流・シティPRキャンペーンでは、市民の皆さんの参加を大きなテーマに、三つのコンテストを実施。市民手づくりの札幌の魅力を、たくさん寄せていただきました。

絵手紙コンテストは、「自分の大切な人を札幌に招くときに送りたい絵手紙」というのが募集のテーマです。自分の好きな札幌の表情や、見てもらいたい札幌の魅力を絵に表して「おもてなしの言葉」を添えます。応募には、大通公園や赤レンガのほか、雪、ラーメンなど札幌らしさがあふれる九十三作品が集まりました。具体的な送り主を想定して作られたのか、受け取った人の笑顔が目に見えかぶような温かさが伝わります。市民一人ひとりの「札幌に来てほしい」という思いが相手に届けば、訪れる人の数も確実に増えていくでしょう。

自慢の札幌を写真とコースで伝えよう

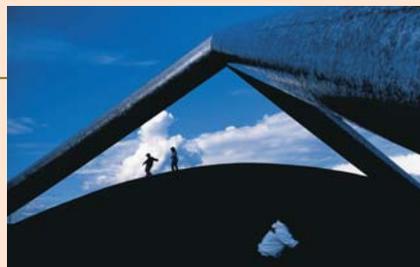
「さっぽろ観光おすすめコースと写真コンテスト」も実施。自分の好きな札幌を伝えようという**写真部門**には、百九十四点の応募がありました。誰もが知っている観光施設・スポットだけではなく、「この場所から見る○○」といった作者のこだわりが垣間見える作品も多く、市民の札幌に

対する思いが映し出されているようです。五十八点の応募があった**おすすめコース部門**は、お客さまを案内したい場所をコースにして紹介しています。大賞を受賞した作品をみると、費用をなるべくかけないで思い出を作れるように設定したもので、市民に親しまれている市電に乗って見所を回るもの、札幌の開拓から現在までの発展を支えた「産業遺産」を回るものなど、着眼点が個性的です。お客さまの身になって考えたコースだからこそ、少しでも札幌の街を楽しんでもらいたいという思いが

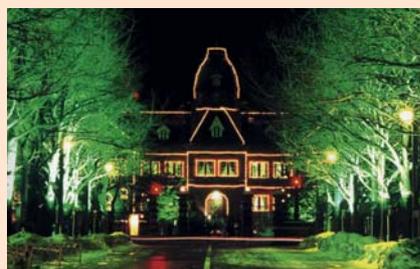
伝わってきます。自分たちの住む街に誇りを持ち、迎えるお客さまをもてなしたいという気持ちは、市民の間にもしっかりと広がりつつあるようです。

今回の絵手紙コンテストと写真コンテストの優秀作をもとに六種類の絵はがきを作成し、区役所で配布しています。また、新年度には、新しいポスターなどを絵柄にした絵はがきを、広報さっぽろに綴じ込み全世界に配布します。ぜひ、市外の友人・知人に送って札幌をPRしてください。

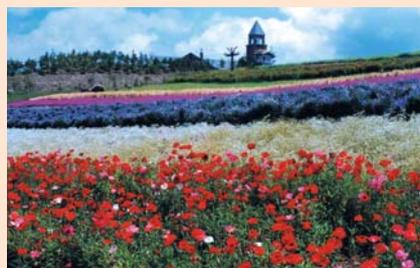
さっぽろ観光写真コンテスト 受賞作品から



大賞:「天空の丘に遊ぶ」(モエレ沼公園)



金賞:「風雪百年」(旧道庁)



金賞:「夏の彩り」(滝野フラワーガーデン)



テレビ塔

絵手紙コンテスト 入賞作品から



旧道庁